

今月の安全運転管理

日没前に ライトを点けて 事故防止

①薄暮時間帯の危険と早めのライト点灯

- 日没1時間前にはライトを点灯しよう
- 高齢者の交通事故を防ごう

②秋の全国交通安全運動

【9月21日(火)～9月30日(木)10日間】

※県内一斉大監視 9月24日(金)午後4時～午後6時

- 正しい運転マナーの実践を習慣づけよう



日没前に 早めにライト点灯しよう

日没前後二時間は「薄暮時間帯」と呼ばれ、薄暗くなることで周りが見えづらくなり、自動車や自転車、歩行者等を見落としがちになります。また、自分からは見えていても、周りからは見えていない、といった感覚のズレも生じやすくなるため、事故が起こりやすくなります。

薄暮時間帯の事故を防止するためには、暗くなってきたと感じるよりも前にライトを点灯することです。ライトを点灯することで視認性が向上するだけでなく、対向車や歩行者等に自車の存在を知らせることができます。
ライトの点灯時刻の目安は、日没より一時間前です。九月は十七時を目安にライトを点灯し、事故防止に努めましょう。

高齢者を 交通事故から守るために

愛知県警の分析によると、過去五年間の九月に愛知県内で発生した高齢者の交通事故死事故は、六割以上が歩行中、自転車乗車中に発生しています。また、高齢者の横断中の死亡事故の七割以上が、信号機のない場所で発生しています。

高齢者は、加齢により動体視力や体力、判断力の低下がみられます。そのため、接近してくる自動車に気づかないまま横断することや、「車は来ないだろう」との思い込みから、事故が発生するケースがあります。
これからの時期は日没時間が早くなり、すぐに周囲が暗くなるため、高齢者はより周りが見えづらくなり、事故の危険性が高まります。
薄暮時間帯に歩行中、自転車乗車中の高齢者を見かけ

たら、相手は自車が見えていないとは思わず、横断してくることを予測して、十分に速度を落として走行しましょう。

日頃の運転を改めて 正しい運転マナーを 実践しよう

交通事故を起こさないためには、交通ルールを守って運転することが重要です。そこで今回の秋の全国交通安全運動では、運転マナーを今一度確認してみたいかがでしょうか。

運転マナーの基本は、「思いやり」や「譲り合い」の気持ちを持って運転することです。
例えば、道幅が狭い道路で対向車とすれ違う時は、「相手が道を譲るだろう」と考えず、自ら率先して左へ寄って停止し、相手を先に行かせるようにしましょう。
日頃の運転を振り返り、正しい運転マナーの実践を習慣づけましょう。